

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター（旧 東医療センター）外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 胃癌術後1年の体重減少に影響する因子の検討

[研究対象者] 2015年1月1日から2021年9月30日の間に、胃癌と診断されて、東京女子医科大学東医療センター外科で胃癌に対する吻合伴う治療切除術を受けられた方

[利用している診療情報等の項目] 診療情報等：

性別(男性/女性)、年齢(<80歳/80歳)、独居(独居/同居)、運動習慣(あり/なし)、  
口腔外科医が診察し確認した残存歯数(<20本/20本)、Mini Nutritional Assessment-Short Form(MNA®-SF) <sup>1</sup>(score11/12)、Psoas muscle index(PMI) <sup>2</sup>(低下/通常)、小野寺式栄養指数(PNI)(40/>40)、modified Glasgow Prognostic Score(mGPS)(score1・2/0)、  
胃切除範囲(胃全摘/幽門側胃切除)、到達法(開腹/腹腔鏡)、術後合併症(あり; CD GradeII/なし)、  
入院中(手術前入院時から退院時まで)の個々人の必要栄養量に対する摂取量の平均充足率  
体重;手術前入院時、退院時、術後1年時、手術前入院時と比較した胃癌術後1年の体重減少率  
推算糸球体濾過量(eGFR)、クレアチニン、尿素窒素

1 栄養障害の有無を判定する簡便な評価表。過去3カ月間の食事量減少、体重減少、歩行状況、精神的ストレス)と急性疾患、認知症、Body mass index(体格指数)について点数化し評価

2 術前CTにおけるL3レベル腸腰筋面積(cm<sup>2</sup>)をmanual trace法を使用して計測し、身長<sup>2</sup>(m<sup>2</sup>)で割った。カットオフ値(男性6.36cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>、女性3.92cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>)以上を骨格筋量良好、未満を骨格筋量低下と定義し、筋肉量の推定やサルコペニアの診断に頻用されている指標

等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

胃癌術後1年の体重減少に影響する因子について解明することを目的としています。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2024年12月までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者 研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター（旧 東医療センター）外科 助教 佐川まさの

電話：03-3353-8111（内線 8953）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-3894-5493 Eメール：sagawa.masano@twmu.ac.jp